

第14回

開発・技術マネジメント革新大会



技術が経営をドライブする ～次の時代を担うRD&E革新の新潮流～

2008年秋のリーマンショックをきっかけとした経済不況は、世界に大きな衝撃を与えました。

そして、今、エネルギー革命や自動車革命に象徴される産業構造の変革、新興国の急速な発展によるグローバルレベルでの市場変化が叫ばれ、世界は、経済不況後の次の時代へむけて大きく舵を切ろうとしています。そのような急激な変化の中で、日本企業が生き抜き、成長していくために、改めて次の時代を見据えた経営のあり方、戦略のあり方が問われています。

－ 次の時代へ向けて、「技術」を担うRD&Eが中核となり企業経営を革新していかなければならない －

今大会は、そのような思いをもって、日本企業の強みである「技術」をどのように新しい価値に結びつけ新たな時代の成長戦略を切り開くか、そのためにRD&E現場に求められる改革・改善への取り組みは何か、について考えたいと思います。

開催日時／2010年6月16日(水) 9:45～18:30
会 場／東京コンファレンスセンター・品川

9:45 ～ 10:00	開催にあたり
10:00 ～ 11:20	基調講演：開発・技術に求められるリーダーシップ
11:30 ～ 12:00	特別講演：「技術が経営をドライブする」RD&E革新の在り方（主催者メッセージ）
13:00 ～ 14:50	【A-I】 「食のソリューション」提案をリードできる研究所を目指して 【B-I】 研究成果の事業化への取り組み（ディスカッション） 【C-I】 改めて価値業務へのフォーカス
15:10 ～ 17:00	【A-II】 品質情報の知識化と効果的活用推進事例 【B-II】 研究組織・人材革新の取り組み（ディスカッション） 【C-II】 事業変革のためのA&D
17:15 ～ 18:30	参加者交流会

主催 株式会社日本能率協会コンサルティング

開催にあたり

経営環境が大きく変化する中で、技術を事業に繋げる重要性は、今まで以上に高まっています。技術革新の必要性は言うまでもありませんが、技術を活かす、技術が生きるマネジメントが求められています。将来のビジネスを俯瞰し、広い視野で技術の活用を検討することや、顧客への魅力的価値創出のためのネットワークづくりなどが、このマネジメントの例として考えられます。

今年で14回目を迎える本大会では、技術が経営をドライブするための視点を皆様と共有化するとともに、皆様とのディスカッションを通して新たな気付きが生まれることを期待しております。

RD&Eマネジメント革新センター センター長 鈴木 亨

午前 共通セッション

基調講演

開発・技術に求められるリーダーシップ

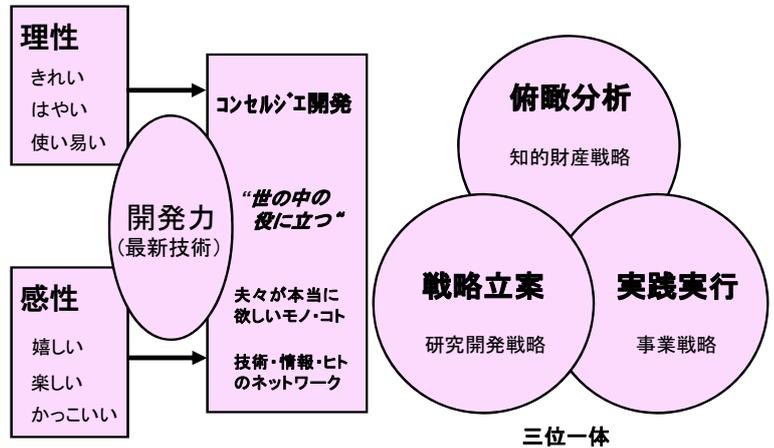
~新たなイノベーションに挑戦し、ゆるぎない未来を~

株式会社ニコン 顧問 エグゼクティブフェロー 富野研究室長 富野 直樹 氏

技術進展が極めて急速で目まぐるしいなか、一昨年には異常な世界的規模の景気悪化が生まれました。結果として、世界勢力図の書換え、目指す社会や経済の変換(新資本主義の台頭)、新しい価値観など、今までとはまったく異なった時代を迎える動きが始まりました。

こうした世界レベルの変革期には開発・技術の持つ役割は大きく、日本の開発者・技術者には優れたリーダーシップとマネジメントを発揮してイノベーションを創造してほしいと思っています。そして、日本の将来を明るく元気にしてほしいと願わずにはいられません。

講演者はニコンに入社以来30年間、カメラの開発・設計・事業・経営に携わりました。10年前にはデジタル化という急激な変革の流れのなかで、開発リーダーとしてD1やクールピクスなどニコンのデジタルカメラを創成しました。その実体験の中で、考えたこと、行ったこと、感じたことなどを卓話的にお話して、これからの研究開発を担う皆様の参考にしていただきたいと思います。



富野 直樹 氏 1975年 大阪大学修士課程修了後、日本光学工業株式会社(現ニコン)に入社し、カメラの設計開発に従事。1996年 社長直轄のデジタルカメラ開発の特任プロジェクトリーダー、2004年 常務取締役兼映像カンパニー副プレジデント、2006年 新事業開発および知的財産担当常務取締役を歴任。現在は顧問エグゼクティブフェロー富野研究室長。
永年にわたり優れた技術開発を行った個人の功績により、米国PMDA技術功労賞や日本写真学会技術賞を授与される。また日本知的財産協会副会長の任にもある。

主催者メッセージ

「技術が経営をドライブする」RD&E革新の在り方

日本能率協会コンサルティング RD&Eマネジメント革新センター

我々日本能率協会コンサルティングのコンサルタントは、長きにわたり日々多くのRD&Eの現場でのコンサルティングや研修の機会をいただいております。ここでは、主催者からのメッセージとして、日々RD&E現場で感じ取っている「気づき」をもとに、企業経営の観点からみた革新の方向性等について、いくつかの仮説と提案をさせていただきます。

従来から取り組まれている改善・改革を地道に継続することももちろん大事ですが、閉そく感を打破するような新たな発想の革新も併せて必要な時期だと考えています。「技術」の持つ大きな可能性を、事業として結実させるためにまだまだRD&E現場でなすことは多くあります。RD&Eの改善・改革は一筋縄ではいかない課題ですが、だからこそ改善・革新の方法に創造性が求められています。そのヒントになるようなトピックを紹介させていただきます。

併せて、RD&Eマネジメント革新センターが、RD&E革新を志す皆様を結ぶネットワークのハブとして、皆様とのコラボレーションをどのように取り組んでいくのかについてもご案内させていただきます。

PM1 (13:00~14:50)

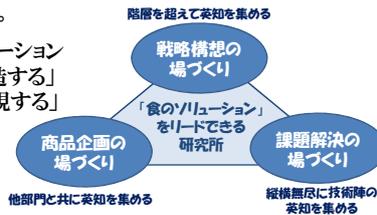
A-I 革新事例セッション①

「食のソリューション」提案を
リードできる研究所を目指して
～全員参加型による中期戦略活動～

キューピー株式会社
研究所 研究推進室 研究企画チーム
チームリーダー 新村 成彦 氏

国内市場の縮小を背景に、食品業界においても技術を軸にした競争力のある商品や事業の創出に対する研究所への期待が高まっています。本セッションでは、「英知を集める」をキーコンセプトに、「食のソリューション」をリードできる研究所を目指し、研究所メンバーが全員参加で取り組んでいる中期戦略活動について、その成果や変化とともに活動のポイントを紹介いたします。

*キューピーでは、食のソリューションとして、「新しい食シーンを創造する」「これまでにないおいしさを実現する」「お客様の潜在的な不満や悩みを解消する」という視点で活動しています。



B-I Next Doorセッション①

Next Doorとは、「参加するパネラー、聴衆、コーディネータの3者が一体となって議論し、知を創発させることで、明日を開くための革新着眼(扉)を発見する場」という意味を込めた双方向交流型セッションの名称です。

研究成果の事業化への取り組み

オムロンヘルスケア株式会社
東京工業大学
日東電工株式会社 他(50音順)

研究開発部門が中核となり革新的な技術を生み出し、新製品・新事業として経営貢献していくためには、見えない未来を自ら構想し、顧客への魅力価値を創出していかなければなりません。また、オープンイノベーションや産学垂直連携などネットワークをつくり、外部の力や知恵を活用し、事業化のスピードを上げていく等、技術開発の枠組みも大きく変化しています。

本セッションでは、研究開発のマネジャーの方々をパネラーに招き、研究・開発現場における課題認識や、事業化の取り組み事例をご紹介いただきながら参加者の皆様を交えたディスカッションを行います。

C-I コラボレーション・セッション①

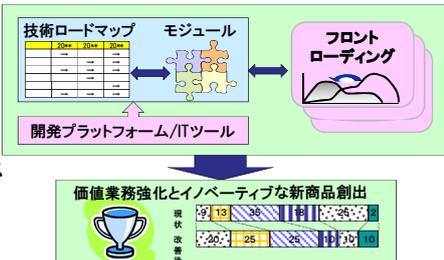
改めて価値業務へのフォーカス

～開発設計部門の生き残りをかけた革新視点について考える～

株式会社図研
取締役本部長 上野 泰生 氏
株式会社日本能率協会コンサルティング
シニア・コンサルタント 野元 伸一郎

最近の開発設計マネジメントのキーワードは、フロントローディング、モジュール化/プラットフォーム化、グローバル対応、ITの効果的活用、価値業務へのフォーカスです。リーマンショック以降日本の製造業は全体的に低迷が続いていますが、開発設計者は本当に価値ある業務に工数が投入できているでしょうか。

本セッションはコラボレーション・セッションとして、標題の革新視点について、講師2名のディスカッションをベースに最近の開発設計マネジメント革新視点について考えていきます。



PM2 (15:10~17:00)

A-II 革新事例セッション②

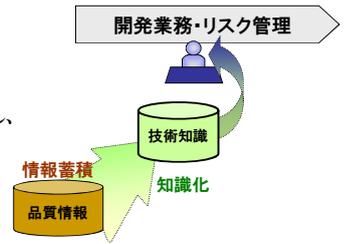
品質情報の知識化と効果的活用推進事例

東芝テック株式会社
リテールソリューション事業部 品質保証統括部
グループ長 原 達也 氏

品質情報はこれまでも仕組みとして蓄積はされてはいるものの、それを今後の再発防止あるいは未然防止に活用するのは難しい状態にありました。

そこで、品質情報を「技術知識」という形に形式知化し、再発防止に活用できるような仕組みに発展させました。

このような取り組みは「言うは易し、行なうは難し」ものです。ここでは、取組みの基本的な思想、活動上の悩ましさの克服、定着化するための工夫等を、実践に基づいて紹介いたします。



B-II Next Doorセッション②

お申込み多数で会場の定員に達しました場合、本セッションへのお申込みを締め切らせて頂く場合がございます。

研究組織・人材革新の取り組み

日本軽金属株式会社
日本信号株式会社
株式会社バンダイナムコゲームス 他(50音順)

研究開発の推進や新事業創出において、情熱を持ち集団を鼓舞しながら目標に向かっていけるリーダーの存在は必須です。しかし、最近「チャレンジアブルな研究者が減ってきた」「何故?と考えない若手が増えている」等の声も聞かれ、活力ある研究開発現場・人づくりが課題となっています。

本セッションでは、研究開発のマネジャーの方々をパネラーに招き、現場における課題認識や、取り組み事例をご紹介いただきながら参加者の皆様を交えたディスカッションを行います。

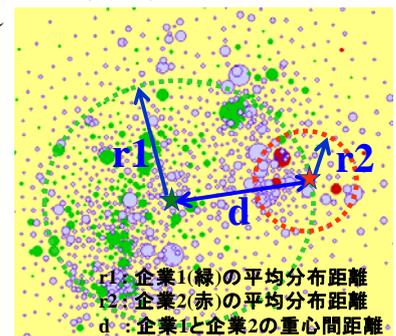
C-II コラボレーション・セッション②

事業変革のためのA&D

株式会社創知
代表取締役CEO
中村 達生 氏

自社内に閉じた研究開発の時代は終焉し、異業種を含めた他社とのアライアンスを積極的に実施して製品・サービスを開発するA&D(Acquisitions and Development)により、事業イノベーションを産み出すことが期待されています。

自社を含む広範囲な技術領域を俯瞰して、自社の強み・弱み脅威・機会を探索し、事業戦略を立案する手法を事例とともに紹介します。



r1: 企業1(緑)の平均分布距離
r2: 企業2(赤)の平均分布距離
d: 企業1と企業2の重心間距離

参加方法 インターネットまたはFAXでお申し込みください

<http://www.jmac.co.jp/rde/>

FAX. 03-3434-2963

参加料/21,000円(資料・昼食・パーティ代・消費税込み)

定員/300名(お申込み順)

■参加申込方法

- 参加希望の方は、インターネットもしくは下記申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。
- お申込み順にて受付、後日参加証・請求書をお送りします。

■ご注意

- 定員になり次第締切とさせていただきます。
- FAXでのお申込みは、開催日の3日前まで受付いたします。
- 参加料振込み後のキャンセルはできませんので予めご了承ください。(代理の方の出席をお願いします)
- 同業者はお断わりする場合がございます。
- 諸事情により開催を中止させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- ご案内のご送付先変更・中止などのご希望の方は、お手数ですが封筒の宛名ラベルにその旨をご明記の上、FAXにて本大会事務局までご送付くださいますようお願い申し上げます。

第14回 開発・技術マネジメント革新大会 申込書

参加証・請求書のご送付方法はどちらを希望されますか。

E-Mail希望

郵送希望

※PDF形式のファイルとなります。

貴社名・事業所名(フリガナ)

業種 1.食料品 2.繊維製品 3.パルプ・紙 4.化学 5.医療品
6.石油・石炭製品 7.ゴム・窯業 8.鉄鋼・非鉄金属・金属製品
9.機械 10.電気機器 11.輸送用機器 12.精密機器
13.その他製造業 14.電気・ガス業 15.運輸・通信業
16.卸売業 17.小売業 18.金融・保険業 19.建設・不動産業
20.サービス業 21.公共 22.その他

ご住所(フリガナ) 〒

参加 責任 者 ※	氏名(フリガナ)	午後のご希望セッション(PM1、 PM2)を各1箇所選択してください
	部署名 役職名	
	TEL FAX	PM1: <input type="checkbox"/> A-I <input type="checkbox"/> B-I <input type="checkbox"/> C-I
	E-mail	PM2: <input type="checkbox"/> A-II <input type="checkbox"/> B-II <input type="checkbox"/> C-II
参加 者 ①	氏名(フリガナ)	午後のご希望セッション(PM1、 PM2)を各1箇所選択してください
	部署名 役職名	
	TEL FAX	PM1: <input type="checkbox"/> A-I <input type="checkbox"/> B-I <input type="checkbox"/> C-I
	E-mail	PM2: <input type="checkbox"/> A-II <input type="checkbox"/> B-II <input type="checkbox"/> C-II
参加 者 ②	氏名(フリガナ)	午後のご希望セッション(PM1、 PM2)を各1箇所選択してください
	部署名 役職名	
	TEL FAX	PM1: <input type="checkbox"/> A-I <input type="checkbox"/> B-I <input type="checkbox"/> C-I
	E-mail	PM2: <input type="checkbox"/> A-II <input type="checkbox"/> B-II <input type="checkbox"/> C-II

※印の方宛てに参加証・請求書をまとめてご送付します。(不都合な場合は、備考欄にご記入ください。)

備考:

- 本個人情報、弊社事業活動におけるセミナー、イベント、アンケートのお願いなどに活用させていただくことがあります。
- 弊社は、収集した個人情報を適切に取り扱い、第三者への提供は行いません。
- 本情報の訂正、削除などをご希望される場合には、お問合せ先「第14回開発・技術マネジメント革新大会事務局」までご連絡ください。

問い合わせ先 株式会社日本能率協会コンサルティング 第14回 開発・技術マネジメント革新大会事務局
TEL : 03-3434-0063 FAX : 03-3434-2963 E-mail : event_consult@jmac.co.jp